

萱瀨☆物語

大村市立萱瀨小学校
学校だより 第19号
令和4年12月23日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

2学期も温かいご支援ありがとうございました！

令和4年度の第2学期は、本日終業式を迎えました。子供たちは8月26日の始業式から80日間、いろいろなことを経験しながら、元気に登校できました。

2学期は、登校日数が多いことや季節がよいことから、日々の教育活動に加え、小中合同運動会、6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習、4・5年生の長崎社会科見学、小体祭、小音会、スクールコンサート（アウトリーチコンサート）、魚調理講習会、人権集会、持久走大会等、様々な活動に取り組みました。

一つ一つを思い起こせば、様々な活動を通して、成長し続けた子供たちの真剣な表情、明るい笑顔、そしてやり抜く姿が思い浮かべられます。

このように2学期の学校教育活動を実施できたのも、保護者の皆様及び地域の方々のご支援のおかげと深く感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染状況もまだまだ油断できません。年末年始になります。インフルエンザも含めて感染予防には十分気をつけながら、よい年をお迎えください。

持久走大会 ～ご声援・ご協力ありがとうございました～

12月16日、朝からの曇り空も持久走大会の時間帯はちょうど陽が差して、思ったより暖かい中で持久走大会を開催することができました。多数の保護者やご家族・地域の方・保育園児等が応援に来てくださり、「がんばれ～！」の大声援をいただきました。応援は子供の力になりますね。声援をいただいたとたん、スピードアップする子供の姿が微笑ましくもたくましく感じました。おかげで出場した全員が完走し、自己ベストの記録を出した子供がたくさんいました。「子供たちのがんばる姿はすばらしく感動する。おかげで、こちらが元気をもらいました。」と声をかけてくださる方もいて、私も嬉しくなりました。



子供たちには、人との競争よりも今までの自分に勝つこと（練習の記録を上回る自己ベストの記録を目指す）取り組むように話してきました。ご声援ありがとうございました。

荒瀬少年剣道部50周年記念大会について

18日（日）、標記大会が荒瀬公民館で開催されました。開閉開式、稽古披露や部内個人戦等が行われました。式典に参加してみて、50年という長い歴史の重みや継承されてこられた諸先輩方・関係者の方々の思いを感じました。剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言われるように、日頃の稽古を通して、礼儀や礼法所作を学び、相手を思いやる心を育む人間形成の場でもあると感じました。相手に寄り添い思いやる『惻隱の情』を大切にしていると話されていました。



今後稽古を通じて、体を鍛え、技を磨く中で、仲間と共に目標に向かって全力で立ち向かう強い心や、他人の痛みを理解し相手を思いやる心を培ってほしいと思います。

1月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1 学校閉 庁期間	2	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10 3学期始業式 給食無し 11:20 頃下校	11 読書タイム	12 B日課	13 ドリルタイム	14
15	16	17 ブクブクタイム 音読タイム	18 きらきら☆タイム 授業参観 学校保健委員会 6年生制服採寸	19 B日課	20 ドリルタイム	21
22	23 委員会活動(写真撮影) メディアコントロール チャレンジ開始	24 ブクブクタイム 音読タイム やまびこ集会(給食集 会)	25 読書タイム S委員会	26 B日課 認知症サポーター 養成講座(4年生)	27 租税教室(6年生)	28
29	30 代表委員会(6 年生を送る会)	31 ブクブクタイム 音読タイム やまびこ集会(縦 割り活動)	2/1	2/2	2/3	2/4

天高く舞い上げれ「子供たちのたこ！」

正月遊びの風物詩でもある「たこあげ」ですが、運動場を眺めると、冷たい風が吹く中、1年生が寒さに負けずに元気よくたこあげをして楽しそうに走り回っていました。そこで、「たこあげ」はどうして始まったのか調べてみました。

たこあげの起源は中国と言われています。日本に初めてたこが伝わってきたのは平安時代とされており、当時は貴族の遊びとしてたこをあげていたようです。そののち戦国時代になると、武士が通信手段としてたこを活用していたこともあったと言われています。ほかにも、ヨーロッパなどの諸国も経て、外国と交わりのあった長崎へも伝わったという説もあります。

日本に伝わったたこあげは、江戸時代に入ると貴族や武士だけでなく庶民の間でも流行したようです。

